

125年の集大成

CHUO D-N-A
PROJECT
125th
Anniversary in 2010

力走



中央大学

第87回 2011.1.2 sun - 1.3 mon

箱根駅伝

東京箱根間往復大学駅伝競走

箱根駅伝の中大記録

[第86回大会まで]

- 最多優勝 **14**回
- 最多連続優勝 **6**回
- 最多出場 **84**回
- 最多連続出場 **81**回
- 最多区間賞 **136**人

そして**2011年**
第72回大会以来の総合優勝を目指します。

沿道でのご声援よろしく申し上げます。



部員紹介

名前(ふりがな) / 学部 / 学年 / 出身校(出身地)

監督



浦田 春生(うらた はるお)
中央大学 陸上競技部 駅伝監督

主将



大石 港与(おおいし みなと)
法学部 / 4年 / 富士東(静岡県)



久保田 康友(くぼた やすとも)
法学部 / 4年 / 宗像(福岡県)



齋藤 勇人(さいとう はやと)
商学部 / 4年 / 拓大紅陵(千葉県)



中居 冬臣(なかい とうみ)
経済学部 / 4年 / 市鏡子西(千葉県)



中村 純也(なかもら じゅんや)
法学部 / 4年 / 中大杉並(東京都)



森山 昇人(もりやま のりひと)
文学部 / 4年 / 小林(宮崎県)



山下 隆盛(やました たかもり)
法学部 / 4年 / 利府(宮城県)



山田 雄司(やまだ ゆうじ)
総合政策学部 / 4年 / 佐久長聖(長野県)



井口 恵太(いぐち けいた)
経済学部 / 3年 / 浜松日体(静岡県)



市塚 遊(いちづか ゆう)
理工学部 / 3年 / 埼玉栄(埼玉県)



大西 裕真(おおにし ゆうま)
理工学部 / 3年 / 尽誠学園(香川県)



金田 央(かねだ ひると)
文学部 / 3年 / 市立柏(千葉県)



小柳 俊介(こやなぎ しゅんすけ)
商学部 / 3年 / 諫早(長崎県)



仁部 宏紀(にべ ひろき)
経済学部 / 3年 / 土浦日大(茨城県)



橋形 卓磨(はしがた たくま)
経済学部 / 3年 / 洲本(兵庫県)



棟方 雄己(むなかた ゆうき)
法学部 / 3年 / 山台有英(宮城県)



渥美 昂大(あつみ あきひろ)
総合政策学部 / 2年 / 八千代松蔭(千葉県)



岩城 和音(いわき かずね)
経済学部 / 2年 / 藤林明誠(静岡県)



大須田 優二(おおすだ ゆうじ)
経済学部 / 2年 / 國學院久我山(東京都)



佐々木 健太(ささき けんた)
法学部 / 2年 / 佐久長聖(長野県)



塩谷 潤一(しおや じゅんいち)
理工学部 / 2年 / 八千代松蔭(千葉県)



新庄 浩太(しんじょう こうた)
法学部 / 2年 / 西脇工(兵庫県)



鈴木 大地(すずき だいち)
商学部 / 2年 / 泉館山(宮城県)



鈴木 大和(すずき やまと)
経済学部 / 2年 / 西湘(神奈川県)



野脇 勇志(のわき ゆうし)
法学部 / 2年 / 小林(宮崎県)



服部 峰祥(はっとり みねあき)
法学部 / 2年 / 三重(三重県)



相場 祐人(あいば ゆうと)
経済学部 / 1年 / 國學院久我山(東京都)



上田 拓(うえた たく)
文学部 / 1年 / 西京(山口県)



上村 顕斗(うえむら けんと)
経済学部 / 1年 / 九州学院(熊本県)



代田 修平(しろた しゅうへい)
経済学部 / 1年 / 佐久長聖(長野県)



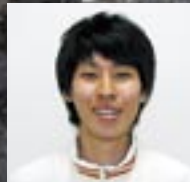
須河 宏紀(すがわ ひろき)
経済学部 / 1年 / 富山商(富山県)



西嶋 悠(にしじま ゆう)
文学部 / 1年 / 白石(佐賀県)



保岡 宏紀(やすおか ひろき)
経済学部 / 1年 / 西条農業(広島県)



矢崎 遼(やざき りょう)
経済学部 / 1年 / 富士東(静岡県)



マネージャー
井上 洋平(いのうえ ようへい)
商学部 / 4年 / 浜松商(静岡県)

副務



マネージャー
久米 薫(くめ かおる)
経済学部 / 3年 / 鎌倉学園(神奈川県)



マネージャー
魚島 一葉(うおしま かずは)
文学部 / 4年 / 田川(福岡県)



マネージャー
五味 彩香(ごみ あやか)
総合政策学部 / 4年 / 春日部共栄(埼玉県)



マネージャー
高田 景(たかた けい)
経済学部 / 3年 / 浜松商(静岡県)



マネージャー
宮野 友紀子(みやの ゆきこ)
文学部 / 3年 / 小金(千葉県)



マネージャー
五味 舞香(ごみ まいか)
文学部 / 1年 / 英践女子学園(東京都)

主務

目標は「箱根駅伝総合優勝」 中央大学駅伝チームに暖かいご声援を!!

「箱根駅伝」
前哨戦
レポート

10月11日(祝)開催(島根県・出雲大社スタート) 第22回 出雲大学選抜駅伝

可能性を感じられた「1年生の起用」

第22回出雲大学駅伝競走は、主力選手を欠いた布陣で臨んだ。この大会に向けての調子は決して良いとは言えないものの、「手ごたえ」はしっかり掴めた。号砲と同時に、参加22大学一斉に出雲大社からスタート。各大学、エース級の選手をエントリーさせ、スタートダッシュをする中、中央は西嶋が走る。1区と重要な区間で



大学駅伝のデビュー戦を迎えた。区間6位と順調な滑り出して、総合成績は7位となり、3大駅伝の序章の幕開けとなった。

喪章リボンの意味

今回走破選手のユニフォームに「喪章」がつけられていた。TV中継された大会であるが、気づいた方は少なかったと思う。石部安浩元陸上部監督が9月末に亡くなられたのだ。「私は学生時代から大変お世話になった監督で、中央大学の歴史の中で最も辛い時期に監督をされていた方です。今年の箱根駅伝でも、宿舎に向いて下り、一緒に部屋で枕を並べて寝た記憶が蘇ります。」と浦田監督は語った。

収穫もあった「出雲遠征」

大会は7位と箱根駅伝の競合校に劣った部分は否めない。しかし、エース不在のチームで主力選手も欠場する中で健闘した。選手36名というのは、箱根駅伝常

総合第7位

2時間13分20秒

連校の中では決して多くない。そのような状況の中でも踏ん張ったのは、揺るがない総合力でチームワークが発揮されたからであろう。大会終了後、場所を浜山陸上競



技場に移して、補欠を中心とした記録会が行われた。その中で野脇は、足の不調を抱えながらも参加選手トップで自己記録を更新した。他の2名の選手も自己新を更新するなど、今後のレースへのつながりを見た。

11月7日(日)開催(愛知県・熱田神宮スタート) 第42回 全日本大学駅伝

主将大石のスタートダッシュ

中央の精神的柱の主将大石が、意地の走りを見せた。雲り空のもと、8時10分に号砲が鳴った。各大学主力メンバーを揃える中、中央は出雲駅伝にエントリーされていなかった大石が、初陣を切った。冷静なレース展開で、後半は先頭集団からこぼれてくる選手を抜き、自分の責任を果たす最高のスタートダッシュで勢いづくはずだった。

数字には現れない「中味の濃いレース」

1区は6位で好発進し、西嶋、塩谷の好走で5位に追い上げ、最終区間に襷を渡した。最終学年の斎藤は、ひとつ先の大学が、前半からハイペースでレース展開を繰り広げる中、自分のペースを維持しながら後半に備えた。あくまで「シード権」より「上位進出」を目指した。しかし、後半でスタミナが尽きたのか、登り坂で踏ん張る事が出来ず、昨年確保した「シード権」を逃す結果となった。プレッシャーの続くレース展開にも、部員全員がしっかりと

した「責任」を果たす走りを見せられた事が、意味のある「8位」につながった。



課題が明確に見えた「全日本」

総合8位で、次年度のシード権は獲得できなかったものの、決して走り自体は悪くなかった。最初の区間から、常に他大学と接戦を繰り広げていた中央は、「総合力」をチー

総合第8位

5時間20分32秒



ムの責任として受け止めた。アンカーの斎藤が、部員に両手を合わせゴールした事に対し、主将大石は「個人の責任ではない。全体の責任、自分一人だけ悪者に思うな!」と斎藤に喝を入れながら労った。浦田監督も「数字だけで判断すると、不甲斐ない結果だったが、レース内容は決して悪くない。これから再度チーム力をあげよう」と箱根に向けて、立て直しをはかる決意を表明した。

機は
熟した

“中央大学”第72回大会以来の 「総合優勝」に向けて

出雲7位・全日本8位は課題もありますが、現在のチーム力からすると、箱根へつながる結果であると思います。全日本の主将大石の1区起用は、チームの精神的支柱としてレースの流れを作るのに適役だと判断しました。走る人数が6人から8人、そして箱根はさらに2人増えます。残り2ヶ月を切りましたが、もう一度合宿で最後の走りこみをし、箱根駅伝に臨みます。チームの状況は悪くありません。混戦が予想されますが、3大駅伝の最終章を良い結果で終われるよう、全員駅伝の力にさらなる磨きをかけて戦いに挑みます。



浦田
春生
陸上競技部
駅伝監督

1984年中央大学経済学部卒。在学中は2・3年次に箱根駅伝出場。実業団選手・監督を経て、2007年8年コーチ、2008年4月駅伝監督に就任。

受け継がれる「主務」の襷

今年創立125周年を迎えた中央大学。
創部90年の伝統を持つ陸上競技部は年数以上の財産を「襷」のごとく継承して行く。
今回は、現在主務の井上洋平と副務の久米薫の2人に、箱根駅伝に向けての想いを語ってもらった。

出雲駅伝の7位、全日本駅伝の8位から箱根に向けてチームの調子は？

井上:調子は良いですね。この言葉は、大会で戦えるという意味でもあります。全てが順調とまではいきませんが、着々と成長している感覚がありますね。

箱根駅伝当日はどんな思いですか？

井上:選手を信じるのみです。緊張するのは元日までなので。でも運営管理車に同乗していて、復路の6区だけ最後の3kmしか選手を見ることができないので、そこがドキドキしますね。



主務:井上洋平

先日の練習では久米さんが先頭を走っていましたね。

久米:これも選手兼マネージャーの仕事です。(笑)

井上:10月末に久米が自己新記録出したんです(※参考5000mを14分台)。その時の記録会がとても

印象的です。凄い事ですよ!おそらく前代未聞の最強マネージャーです!

マネージャー業と両立しながら、選手として箱根駅伝を目指しますか？

久米:いいえ。私の一番大切な仕事は、側面からの選手のサポートです。練習でもペースメーカーになれるように頑張りたいですね。



副務:久米薫

箱根駅伝の見所は？

井上:今年は、山下が6区で転倒するアクシデントがありました。山下りは楽に思えますが、コースと併走する「箱根登山鉄道」と同じかそれ以上のスピードで下り、足にはかなりの負荷がかかります。山下も転倒では擦り傷程度でしたが、走り終えた足底は、皮がむけて出血していました。大会終了後はしばらく歩行も困難でしたよ。また6区は、復路のスタートですので、往路でのタイム差を計算しながらのレー

ス展開で、総合成績を左右する重要な区間でもあります。

久米:3区が見逃えがあります。エース級の「2区」を終えた各大学が、レースの落ち着きを戻す為にも、この区間は見逃せません。最初のコースはアップダウンが激しいですが、国道134号線に出ると、選手も気持ち良く走る事の出来る区間です。

井上:やはり、最後の10区が見所になります。約188kmもの道のりが、最終区間の23kmで決まるので、沿道で「鳥肌」を感じます。日本橋・銀座の中心を走りながら聞こえる多くの声援が、選手の疲労も癒してくれますよね。ゴールで待っている部員は、笑顔で満ちあふれています。どの区間も重要で、中大は「縮める」ではなく、「後ろを引き離す」をテーマにしています。

箱根に期待ができそうですね。

井上:はい。しかし調整の難しい競技(長距離)なので、気が抜けません。選手は大会が近づくにつれてナーバスになります。久米と二人で出来る限りの雑音を防ぎたいとは思っていますが、応援してくださる皆様にもチーム状況をお伝えし、結果を残す事で恩返しをしたいと思います。

久米:全区間で210kmを超える見どころの多い大会ですので、一人一人の結果(区間記録)はもちろんですが、チーム(大学)の集大成としての結果を温かく見守ってください。

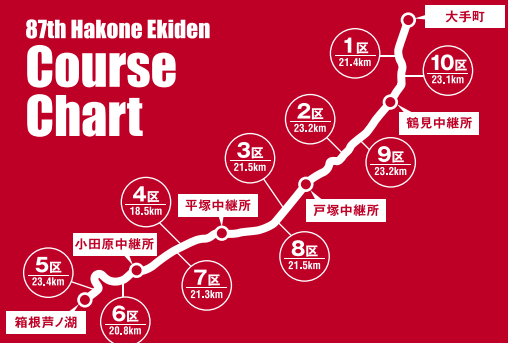
「中央大学」のココに注目!!

主将大石をはじめ、前回の箱根を経験している選手が6名いるというのはチームに安心感が生まれる。今年1年生の西嶋も、出雲・全日本と堅実に走っているの、下級生の起用も十分あり得る。「エース」と呼ばれる選手がいない分、総合力で戦わなければならない。そのため、是非とも10区間すべてを見てほしい。往路最終区間の「山登り」は、86回大会で走破した大石が、意地の走りを見せてくれるだろう。2区のエース区間は、いかにして他の大学と競い合えるかが問われる区間とも言える。最終学年の選手に備わる「意地」と「プライド」。これを余すところなく発揮した粘りの走りに注目してほしい。出雲7位・全日本8位の結果に対し、部員全員が「悔しさ」を背負って走ってくれる事に期待したい。

※大会当日のコースは、非常に多くの観戦者がいます。マナーを守った観戦をお願いします。

87th Hakone Ekiden

Course Chart



「中央大学駅伝応援サイト」応援メッセージ募集中!



- 女子マネージャーのインタビュー
- 選手のキャンパスライフ
- 活動ブログなど

中央大学 駅伝 検索

<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/ekiden/>



- 応援メッセージ投稿フォーム

<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/ekiden/mobile/>

